

5 ウォークラリー（WR）

交差点や分岐点だけを記載したコース図をたよりに、8つのチェックポイント（CP）の問題を解きながらコースを周り、グループで得点やタイムを競います。

- ・ グループごとに時間差でスタートするので、グループが多ければ、そのぶん時間がかかります。余裕をもって時間設定をしてください。
- ・ 原則として、グループに時計は持たせません。自分たちの時間感覚で挑戦します。
- ・ 史跡・文化財の乙宝寺や猿塚の見学および動植物の観察ができ、競技をしながら自然に親しむことができます。



ウォークラリーの
チェックポイント

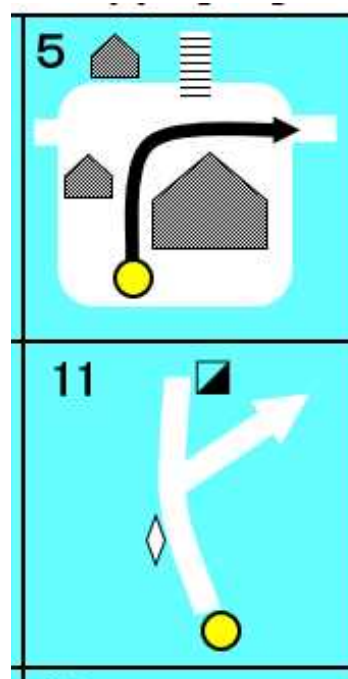
時 期	通年(降雪時不可)	所要時間	説明を含めて 1.2 時間 グループ 数が多いときは 2.5 時間	活動場所	自然の家遊歩道
対 象	小学校高学年以上	人 数	1 グループ 3 人～5 人程度	20グループ程度まで	
準備物	自然の家で貸し出すもの			団体・個人で準備するもの	
	☐ ウォークラリーコース図 ☐ チェックカード ☐ 記録用のバインダー ☐ ビブス ☐ CP (チェックポイント) の看板見本 ☐ 拡大コマ図見本 ☐ 解答 ☐ 賞状……………事務室 } 多目的 ホール 用具室2			☐ 各グループに鉛筆2～3本 ☐ 雨具 ※天候に応じて ☐ 賞状記入用のペン	
活動の手順	事前準備	1 引率者の役割分担 ・説明者 ・監視 ・巡視 ・救護 ・計時 ・採点 ・表彰 等 2 グループ編成 グループで役割分担をしてもよい。・班長 ・記録係 ・時計係 ・地図係等 3 用具の準備			
	活動の実際	1 競技の説明 (1) ウォークラリーの楽しさやねらい (2) 競技の方法 ・コース図中の1 番のコマ図から順番に読み進んでいく。 ・途中にあるチェックポイント（CP）ではクイズを解いて、チェックカードに答えを記入する。 ・各班、5分おき（または3 分おき）にスタートする。 ※ 間隔が短いと、前のグループに追い付いてしまう。 ・55分～65分でゴールする。（徒歩45分程度のコースです） ※ 早すぎても遅すぎても減点となる。 ・得点は、所要時間(得点換算表参照)とチェックポイント（CP）の問題の答えの点数を合計する。 (3) ウォークラリーコース図の読み方 ・CP 1 やCP 2はチェックポイントを示している。 ・それぞれのコマ図にある●印は、自分の位置を示している。 ・それぞれのコマ図にある矢印は、進行方向を表している。 ※基本は白抜きの道の矢印だが、広場では黒矢印で進み先を示している。 ・それぞれのコマ図に距離は示していない。交差点と地図記号を頼りに、現在位置を確認しながら進む。			

	※全員で遊歩道看板などいくつかの地図記号を確認するとよい。 (4) 注意事項 ・「この先進めません」の看板があった時は、別な道を探す。 ・道に迷ったら、前のチェックポイント（ＣＰ）まで戻ってやり直すとよい。 ※緊急避難用にオリエンテーリングの地図を持たせてもよい。 ・ウルシ、ツタウルシに気を付け、遊歩道を歩く。 ※遊歩道以外の場所を通るとウルシに触れてしまうことがある。 ※実物を見せて確認するとよい。 ・遊歩道の動植物を大切に歩く。 (5) やくそく ・必ずグループで行動する。分かれて行動しないこと。 ・体調を崩した時は本部に戻る。戻れないときは近くにいる引率者に相談する。 ・一般道や乙地区集落には出ない。 2 グループで役割分担をし、チェックカードに必要事項を書く。 3 グループで地図記号を確認する。 4 ゴールする時刻を確認する。 5 引率者が監視箇所につく。 6 5分（または3分）おきにスタートする。 7 終了後、採点・集計。
	事後 1 表彰式 2 用具の返却
備考	1 玄関前ポーチ（掲揚塔の前）を本部とし、スタート・ゴールにします。 2 1つめのコマ図の所まで全員で行ってみると、理解しやすいでしょう。 3 ＣＰの問題は、団体で考えたものを使うのもおもしろいでしょう。 4 コース図の見方を事前にしっかりと指導してください。説明が不十分だと、まったく違う方向へ進んでしまい、活動の意欲を低下させる恐れがあります。 5 ＣＰ１まで全員で行き、コース図の見方を練習するのもよいでしょう。

コース図の例



拡大



乙宝寺の脇を通り右に曲がり進みます。

Ｔ字路を右に進みます。